

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館放射能対策事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	利用者の安全及び防災施設としての機能確保を図る。
事業内容	福祉会館の放射能除染作業を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	福祉会館14館（十太夫を除く）のうち、子供が多く利用する施設7館について除染作業を実施した。また、残り7館については平成25年度を予定していたが前倒して放射線量測定を行い、除染が必要な3館について除染作業を実施（うち1館はボランティアにより除染実施）した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	除染を実施した福祉会館				
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	子供が多く利用する施設の除染作業を実施し放射線量を基準値未満としたことにより、安心して施設を利用することができた。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・子供が多く利用する施設7館の除染 駒木台福祉会館 江戸川台福祉会館 思井福祉会館 向小金福祉会館 野々下福祉会館 赤城福祉会館 東深井福祉会館 ・その他の施設の除染（3館） 南福祉会館（ボランティア除染） 下花輪福祉会館（局所的） 名都借福祉会館（局所的）			
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				16,075,846			
事業費(b)(円)				14,622,498			
うち一般財源				341,014			
職員給与費(c)(円)				1,453,348			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.20			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	子供が多く利用する施設(7館)の除染	③取り組みの課題	除染を実施した施設のモニタリングを実施していく必要がある。
②今年度(H24)に実施した取り組み	子供が多く利用する施設を含む14館の除染業務が完了した。	④今後の改善計画	放射線量の継続測定は放射能対策室に委ねる。